

令和3年度(2021年度)

管理事業名	後期高齢者医療事業(一般会計)			総合計画の体系	大綱 3 福祉・健康 政策 3 地域での暮らしを支えるまちづくり 施策 2 生活困窮者への支援と社会保障制度の適正な運営
主な歳出 予算科目	一般会計	(款) 3	民生費	(項) 1	社会福祉費 (目) 14 後期高齢者医療費
部局名	健康医療部	予算執行所属	国民健康保険課		
予算大事業名	後期高齢者医療事業(一般会計)				
	上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名				
事業の目的と概要 後期高齢者医療の保険者である大阪府後期高齢者医療広域連合に対し、医療給付に係る市負担金及び広域連合運営に係る市負担金の支払いを行います。					

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	成果指標の定義
成果の説明					

II 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	令和元年度	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	-	-	-	-
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	6,417	61,793	154,859	93,066
経常収入 小計(a)	6,417	61,793	154,859	93,066
給与関係費	14,356	14,294	14,220	△73
物件費	-	-	-	-
維持補修費	-	-	-	-
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	3,436,758	3,495,625	3,529,319	33,693
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	-	-	-	-
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	1,318	1,315	1,159	△156
退職手当引当金繰入額	319	579	712	133
支払利息	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	3,452,752	3,511,812	3,545,410	33,598
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△3,446,335	△3,450,020	△3,390,551	59,468
特別収入	-	-	-	-
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
特別費用	-	-	-	-
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△3,446,335	△3,450,020	△3,390,551	59,468
一般財源充当額	3,447,163	3,450,612	3,390,973	△59,639
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	829	592	422	△171

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
経常収入・その他	令和2年度後期高齢者医療費負担金返還金 92,885千円の増 広域連合派遣職員負担金 181千円の増
負担金・補助金・交付金等	後期高齢者医療費負担金 31,508千円の増 広域連合運営経費負担金 2,185千円の増

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	令和元年度	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	6,417	61,793	154,859	93,066
行政サービス活動支出	3,453,580	3,512,404	3,545,832	33,427
行政サービス活動収支差額	△3,447,163	△3,450,612	△3,390,973	59,639
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	-	-	-	-
投資活動収支差額	-	-	-	-
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	-	-	-	-
財務活動収支差額	-	-	-	-
収支差額 合計	△3,447,163	△3,450,612	△3,390,973	59,639
一般財源充当額	3,447,163	3,450,612	3,390,973	△59,639
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容	(行政サービス活動支出)市町村負担金
----------	--------------------

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
被保険者1人あたりのコスト (各年度平均)	令和元年度	43,774 人	78,877 円	被保険者1人当たり78,277円のコストがかかっています。 被保険者数が増加しており、1人あたりコストは減少しています。
	令和2年度	44,614 人	78,715 円	
	令和3年度	45,293 人	78,277 円	
	令和元年度		円	
	令和2年度		円	
	令和3年度		円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	令和2年度末 A	令和3年度末 B	差額 B-A	勘定科目	令和2年度末 A	令和3年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	1,315	1,159	△156
未収金	-	-	-	地方債	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	短期借入金	-	-	-
短期貸付金	-	-	-	賞与引当金	1,315	1,159	△156
徴収不能引当金	-	-	-	未払金	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
有形固定資産	-	-	-	その他流動負債	-	-	-
事業用資産	-	-	-	固定負債	11,865	11,599	△266
土地	-	-	-	地方債	-	-	-
建物・工作物	-	-	-	長期借入金	-	-	-
リース資産	-	-	-	退職手当引当金	11,865	11,599	△266
建設仮勘定	-	-	-	リース債務	-	-	-
無形固定資産	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
インフラ資産	-	-	-	負債の部合計	13,180	12,758	△422
土地	-	-	-	純資産	△13,180	△12,758	422
建物・工作物	-	-	-				
建設仮勘定	-	-	-				
重要物品	-	-	-	純資産の部合計	△13,180	△12,758	422
図書館資料	-	-	-				
投資その他の資産	-	-	-	負債及び純資産の部合計	-	-	-
出資金	-	-	-				
長期貸付金	-	-	-				
基金	-	-	-				
徴収不能引当金	-	-	-				
その他債権	-	-	-				
資産の部合計	-	-	-				

Ⅲ 財務構造分析

▽人にかかるコストの内訳

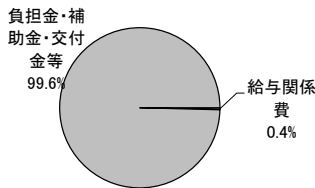
事業従事人数	常勤・再任用	会計年度任用等	特別職非常勤	合計(千円)
	月平均	年間従事延日数	年間従事延日数	
2人	2人	日	日	16,092千円
給与関係費等	16,092千円	千円	千円	16,092
内、時間外勤務手当	0千円			

貸借対照表の主な増減理由(特微的な事項)

勘定科目	増減理由

▽経常費用の構成割合

物件費の内訳(単位:千円)



▽分析指標

(単位:%)

分析指標	年度	令和元年度	令和2年度 A	令和3年度 B	差 B-A
受益者負担比率		-	-	-	-
徴収不能引当率		-	-	-	-
一般財源充当比率		99.8	98.2	95.6	△ 2.6

▽その他特記事項

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

市負担金の支払いを行う事業であるため、費用の99.6%を負担金・補助金・交付金等が占めており、その他は事業従事職員にかかる経費です。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

後期高齢者医療制度は、財源の5割を公費負担することになっており、公費負担のうち6分の1を市が負担すると定められています(医療費負担金)。また、広域連合の運営にかかる人件費や事務費等共通経費については、関係市町村の負担金をもって充てるとされています(広域連合運営経費負担金)。

今後、高齢人口の増に伴い、負担金は増加すると見込まれます。